

2019年3月15日

報道関係各位

株式会社東京ドーム
(コード番号 9681 東証第1部)

東京ドーム 人工芝全面リニューアル および国内初のデジタルサイネージの導入

株式会社東京ドーム（本社：東京都文京区、代表取締役社長：長岡勤）は、2019年プロ野球シーズンに向けて、東京ドーム人工芝のリニューアルと、東京ドーム22ゲート（正面入口）内およびサンバイザー下にデジタルサイネージを導入します。

人工芝の張り替えは2014年3月以来、5年ぶりで、今回導入する人工芝はそれをさらに改善したものです。耐久性と復元力に優れた人工芝で、今まで以上に選手の快適なプレーをサポートします。

デジタルサイネージは、東京ドームサンバイザー下に国内初の導入となる円柱型サイネージ2台と、75型モニター12台を新設します。さらに22ゲート内部にも55型モニターを横一列に24台新設し、映像を使った演出でお客様に更なる感動を提供します。

当社はこれからも利用者・お客様の安全を第一に考え、更なる快適で楽しい空間を提供できるよう、施設改善に取り組んでまいります。

記

■人工芝

<計画概要>

○商 品 名：フィールドターフ HD-ST

○敷 設 箇 所：グラウンド全面（約13,000㎡）

○総 投 資 額：約3億円

○工 事 期 間：2019年3月4日（月）～13日（水） 計10日間

○使用開始日：2019年3月17日（日）読売ジャイアンツ 対 シアトル・マリナーズ戦

○特 徴：天然芝に近いクッション性と、素材の改良により、耐久性と復元力に優れ、常に良質な状態を保ち、選手の快適なプレーをサポートします。また、パイル（※1）の植え込み間隔を今まで以上に狭め、充填材（※2）の安定度を高めることで、これまでに比べてゴムチップの飛散が軽減します。
※1 パイルとは、芝の部分のこと。
※2 充填材とは、間隙を埋める材料のこと。

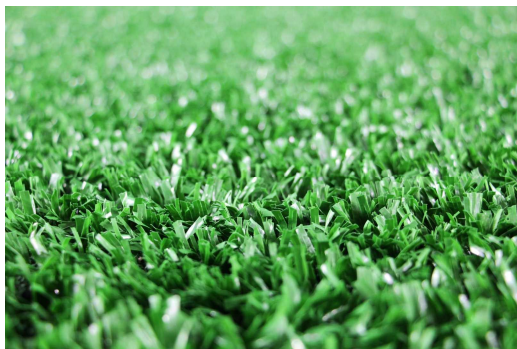
－報道関係の方からのお問い合わせ先－

（株）東京ドーム 広報IR室 白井・松島

〒112-8575 東京都文京区後楽1-3-61 TEL. 03-3817-6029 / FAX. 03-3817-6022

dome-koho@gms.tokyo-dome.co.jp / <https://www.tokyo-dome.jp/>

○フィールドターフ HD-ST の概要



フィールドターフ	2002 年	2007 年	2014 年	2019 年
	初代	改良型	進化型	高耐久型
パイル長	63mm			
パイル素材	ポリエチレン・ポリプロピレン混合		ポリエチレン	
パイル形状	スプリットヤーン		スプリット・フィルム	
パイル厚	80 ミクロン	100 ミクロン	130 ミクロン	150 ミクロン
パイルカラー	ライトグリーン ※セーフティーゾーンはレンガ色			
充填材	珪砂、冷凍粉碎ラバーチップの積層構造（国際特許）			
改良点		耐久性	耐久性・復元力	高耐久性・高復元力

○フィールドターフ HD-ST の採用事例

国内、海外ともに初めての採用となります。

○東京ドームの人工芝導入実績

- ・ 1988 年（開業時） 巻き取り式
- ・ 1992 年 巻き取り式（アンダーパッド改良）
- ・ 1997 年 巻き取り式（アンダーパッド・ジョイント改良）
- ・ 2002 年 フィールドターフ導入 ※FIFA 認定
- ・ 2007 年 フィールドターフ改良型
- ・ 2014 年 フィールドターフ進化型
- ・ 2019 年 フィールドターフ高耐久型

■デジタルサイネージ

<計画概要>

○設置箇所：東京ドーム 22 ゲート内およびサンバイザー下

○仕様：内部設置サイネージ：55 型モニター
外部設置サイネージ（円柱型）：269 型モニター
外部設置サイネージ（標準型）：75 型モニター

○設置台数：内部・・・24 台
外部（円柱型）・・・2 台
外部（標準型）・・・12 台

○総投資額：約 7 億円

○使用開始日：2019 年 3 月 17 日（日）読売ジャイアンツ 対 シアトル・マリナーズ戦

○用途：株式会社東京ドーム：広告媒体、物販のプロモーション、災害時の避難誘導案内 など
イベント主催者：入退場時の演出およびイベント・企画案内 など



内部設置サイネージ



外部設置サイネージ（円柱型）



外部設置サイネージ（標準型）